

令和5年2月11日(土)、刈谷市清水牧場で牛乳消費拡大フォーラムを開催しました。これは愛知学泉大学管理栄養学科の学生が牛乳消費拡大についてを卒業研究のテーマにしたい。そのためまずは生産現場の事を知ろう！とインターンシップに来てくれました。それに合わせて牛好き net 愛知の集会を開催し、牛乳消費拡大をテーマに意見交換をしたものです。少人数ではありますが、酪農家3名・牧場従業員・乳業・県職員・小学生・県酪職員が集まるとともに、事前に学生から提出された「農家に聞きたいアンケート」を基に様々な立場の方から意見を集め、今後の活動の方向性及び我々ができる事について話し合ったものです。

1.生乳の安心安全について



2.基礎知識(特性・流通・需給・課題)について



3.酪農現場での実習(子牛の世話・餌やり・掃除・搾乳)夕・朝・夕・朝の4回の作業を体験



4.牛肉についての講義も受けました。5.学泉大の先生にも来て頂きました



清水ほづみさんより
今まで畜産を学ぶ学生をインターンシップ受け入れして来たが、牛乳を安定的に飲んでもらうために、影響力のある栄養士課程の大学生にも酪農現場を知ってもらおうよ！との意見があり、愛知県内の栄養士過程を持つ大学用インターンシップパンフを作成中。

6.フォーラムの様子 イチゴやチーズ・ジェラート・カフェオレなどの差し入れがありました。感謝！！



《神尾さんから農家に聞いた内容》

- ① 牛乳の消費の現状について酪農家さんはどう考えているか。
- ② 将来、どのような消費状況になったらいいと酪農家さんは考えているか。
- ③ 牛乳の値上げ問題についてどう考えているか。
- ④ 牛乳の消費拡大についてや酪農家さんの思いのなかで大学生に何か出来ることはあるか。
- ⑤ 酪農家さんの牛乳、乳製品への思い。
- ⑥ 現在苦労していること、またやりがいや酪農をされていてよかったと感じた体験。
- ⑦ なぜ酪農家になろうと思ったのか。
- ⑧ 牛乳への苦手意識がある人への加工食品での食べてもらう介入はどうか。
- ⑨ 消費活動拡大のために実際に行った取り組みとその結果について。
- ⑩ その他

① について

とにかく厳しい。餌も電気も何もかも値上がり経営継続の見通しが立たない。

あえて良かった点は、今まで見直さなかった無駄をこの機会に手直して来た事。

- ⑦北村・・・なりたくなかったが、何か事業を起こす時に資本も信用も何も持っていない自分は家業を継いで、家業である酪農を母体に事業展開するのが良いと考えた。

清水・・・翌日取材があった心の筋トレ部を検索下さい

[100人のプロの41人目のプロ!! | 心の筋トレ部 \(kokoronokintorebu.com\)](http://kokoronokintorebu.com)

加藤・・・親の背中を見てカッコいいと思い、当たり前に入家に入った

② ③⑤⑧について

値上げすると消費が落ちる。牛乳がどの様に生産されるのか？理解し価値を感じて買ってもらえるようになると良い。そのために農家は直接子供たちや牧場に来てくれる人に地道に訴える。

乳業より なぜ牛乳が余って来たかの経緯と、乳製品(粉乳)の在庫は何を食べたり飲んだりすると解消されるのか？を具体的に説明して頂く。農家を含め脱脂粉乳は輸入品を利用しているとの概念が強い。しかし、全てが飲用向けで販売されるわけでないの、国内産の脱脂粉乳は出来る。それをカフェオレやヨーグルトに大量に使う。それがコロナ禍で飲食店やコンビニでの売り上げが減り、在庫が積み増しになっている。従って牛乳だけを消費拡大するのではなく、乳製品も含めて利用頂くのが良い。

④ .について

インスタ・YouTube で各酪農家が酪農現場などを配信しているが、農家同士がフォローし合っていて消費者には届いていない。じゃあ学生に見てもらうにはどうしたら良いか？

神尾・・・そもそも酪農や牛乳について検索しないので、酪農関係者の SNS を見る機会が無い。何かヒットしてもその時だけ見て、その牧場のファンになり続ける事もないだろう。従って小学生の時などに酪農を学ぶ機会があると良い。大学生については、私たち栄養学を学ぶ学生に機会を作り、正確な知識の元で伝えて行くのが地道だが良いと思う。